

2018
No.165 12



悠久の時を刻むセンダン

盈進小学校創立160周年記念セレモニー（関連は13ページ）

町長マニフェスト

取組状況報告

平成29年度から4つの戦略目標を掲げて取組を進めています。

29年度は、マニフェスト55項目中53項目に着手し、

関連する事務事業は110事業中103事業を実施しました。

未来を担う子どもたちを 産み育てやすい環境の町

■子育て支援

平成29年10月から第2子の保育料7割軽減を実施し、子育て世帯の負担軽減に努めました。また、放課後児童クラブを2か所新設しました。



■相談窓口体制の充実

妊娠期から子育て期までの様々なニーズに対応する窓口のワンストップ体制として、平成29年9月に子ども支援課を設置しました。妊婦健診から乳幼児健診、子育て相談などに関する受付や助言、情報提供を一貫して行い、切れ目ない支援体制を充実するため、子育て専門相談員を配置しました。

■学校再編

平成31年4月の中学校再編へ向け宮之城中学校の校舎増築工事と空調設備整備に着手するとともに、クラブハウス建設や



実感できる暮らしの町 高齢者が安心して幸せを

■高齢者福祉

地域で支えていく体制づくりを強化するため、在宅福祉アドバイザーの育成や地域見守りネットワーク事業のさらなる充実を図りました。また、地域サロン活動や元気度アップ



■公共交通対策

高齢者福祉に関する様々なニーズや障害者福祉・保健医療分野に関する相談などに対して、ワンストップで分かれ定の検定料を補助しました。平成30年度からは小学生まで対象を拡大しています。また、全ての小中学校に特別支援教育支援員を配置し、支援を要する児童生徒のサポートを行いました。

■安全・安心

英語力向上のため、中学生の英語検定の検定料を補助しました。平成30年象校区への説明会を実施しました。また、第2次学校再編計画について対

グラウンド改修の準備を進めています。

また、第2次学校再編計画について対象校区への説明会を実施しました。

ためアンケート調査を行いました。特定健診の受診勧奨や地域での健康づくり活動の推進により、特定健診受診率が71.9%となりました。



つるおいと元氣のある 住みやすい町

■林業の再生

地域林政アドバイザーを配置し、林地台帳整備や伐採・造林の指導監督、町有林経営計画の作成など、適期適正な森林整備に努めました。また、各種団体などの連携により円滑な林政事業の推進が図られました。



■ごみの分別

平成31年度から町内全域で開始予定の生ごみ分別収集実施に向け、30年度は虎居地区をモデル地区に設定し、対象の各公民会やサロンなどで生ごみ分別説明会を実施しました。

■雇用促進

雇用の確保を図るため、積極的な企業誘致に努めました。また、町内に住所有する新卒者や転入者、その雇用企業などへ助成する新卒者就労支援奨励金及び転入者就労支援奨励金の助成制度を創設しました。

■公共施設のあり方

公共施設等総合管理計画の基本方針に沿い、各施設の機能を維持しつつ、次世代に負担を残さない効率的・効果的な施設の管理に努めました。

学校跡地は、跡地利活用検討委員会による検討や意見集約を行いました。白男川小跡地は地域の拠点機能と合宿施設として作業を進め、平川小はNPO法人、紫尾小は民間事業者にそれぞれ賃貸付を行い、有効活用に努めました。

■事務事業の外部評価

新たに町内の有識者7人で構成する外部評議委員会を設置し、町民視点で事務事業の評議・検証を行いました。

質の高い行政サービスの町

■コンビニ収納

コンビニ収納を開始し、金融機関外で時間の制約なく納付できるようになつたことで、町民の利便性向上を図りました。

■財政の健全化

町税や普通交付税などの一般財源総額を基本とし、歳入に見合った財政規模で二つに応じた行政サービスを提供するとともに、将来における健全な財政運営を行っていくために、平成29年から33年度までの中期財政計画を策定しました。



■重点品目の推進
生産の技術向上と基盤拡大を図るために農専門指導員を新たに配置し、重点推進品目や拡大推進品目、振興品目を中心栽培技術の向上に努めました。

畜産クラスター事業などの大型事業を導入した生産基盤の拡大、優良雌牛の保留・導入事業などによる増頭対策を推進し、子牛生産地の維持・拡大に努めました。また、宮城県で開催された第11回全国和牛能力共進会で牛は、鹿児島県が団体総合優勝を飾り、次回の本県開催に向けて大きな弾みをつけました。

■鳥獣害対策

鳥獣被害防止計画をもとに、国の補助事業などを活用して猟友会による捕獲を実施しました。また、ワイヤーメッシュ柵の設置、鳥獣生息状況調査員の配置、狩猟免許取得講習会費用の助成、鳥獣被害防止対策研修会への集落ぐみの参加など、捕獲と防護の両面から取り組みました。

■防災行政無線

デジタル化に向け、屋外拡声子局や中継局設備などの整備を行いました。また、戸別受信機の全戸設置に向け意向と伊佐市の多様な事業関係者と協働し、観光・特産品振興などの事業が展開されました。

マーケティング調査にもとづく観光戦略の策定・推進や観光事業の経営管理を担う地域連携型のDMO組織である株式会社やさしいまちにより、本町と伊佐市の多様な事業関係者と協働し、観光・特産品振興などの事業が展開されました。

■人口減少対策

さつま体験宿（移住促進交流施設）の運用を開始しました。また、ソラシドエアとの包括連携協定を活用して、地域住民と交換ツアーや地域移住の候補者を知つてもらい、移住先のアピールをしてアピールしました。

■北薩広域公園

歴史ゾーンの早期完成に向け、国や県への要望活動を実施しました。また、2020年開催の鹿児島国体に向け、北薩広域公園の駐車場や園路、観覧席などの整備を行いました。

■財政の健全化

町税や普通交付税などの一般財源総額を基本とし、歳入に見合った財政規模で二つに応じた行政サービスを提供するとともに、将来における健全な財政運営を行っていくために、平成29年から33年度までの中期財政計画を策定しました。

■財政の健全化

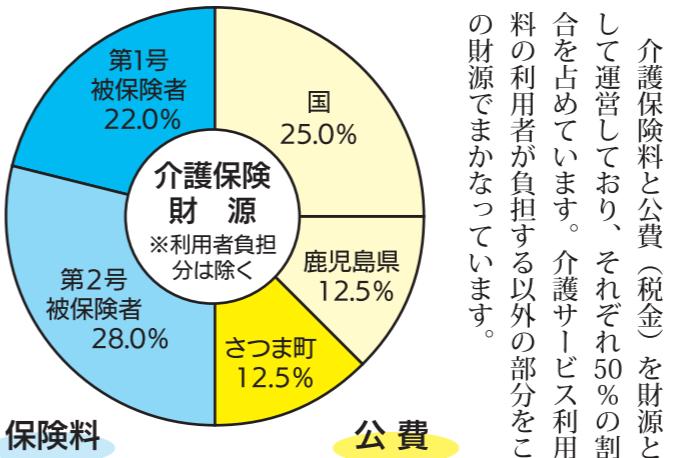
町税や普通交付税などの一般財源総額を基本とし、歳入に見合った財政規模で二つに応じた行政サービスを提供するとともに、将来における健全な財政運営を行っていくために、平成29年から33年度までの中期財政計画を策定しました。

介護保険制度について

お知らせします

介護保険制度は、65歳以上の方（第1号被保険者）と、40歳から64歳までの方（第2号被保険者）が保険料を出し合って、介護が必要になったときにサービスを利用できる制度です。住み慣れた地域でいつまでも健やかに暮らし、安心して自立した生活を送れるよう社会全体で支えていく仕組みです。

介護保険の財源



介護保険料と公費（税金）を財源として運営しております。それぞれ50%の割合を占めています。介護サービス利用料の利用者が負担する以外の部分をこの財源でまかなっています。

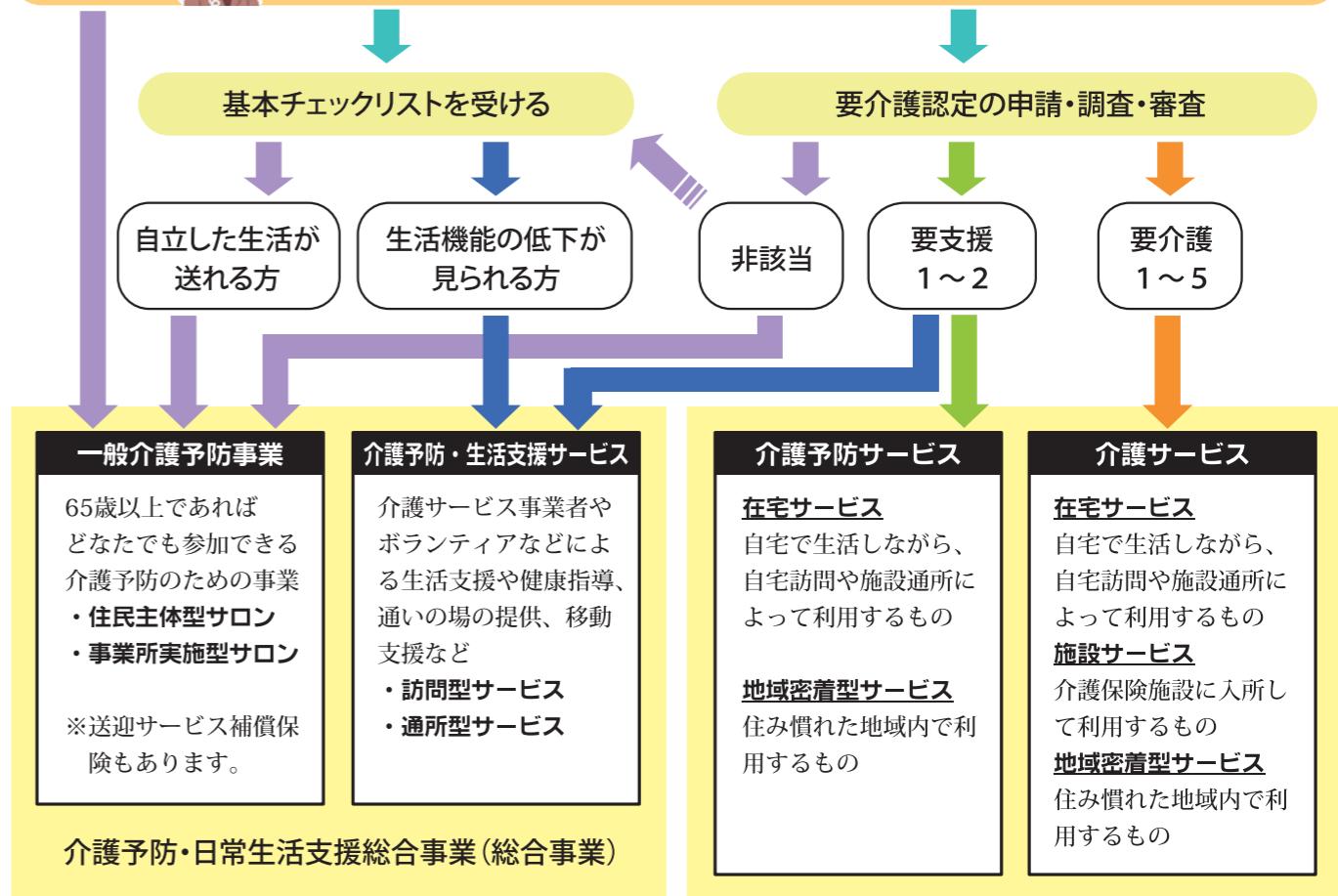
介護保険制度を維持しながら、高齢者の能力に応じて自立した日常生活を送ることができます。そのため町では、医療、介護、介護予防、住まいと自立した日常生活の支援が包括的に確保される「地域包括ケアシステム」を実情に応じて推進していきます。

介護保険制度を維持しながら、高齢者の能力に応じて自立した日常生活を送ることができます。そのため町では、医療、介護、介護予防、住まいと自立した日常生活の支援が包括的に確保される「地域包括ケアシステム」を実情に応じて推進していきます。

サービスを利用するには

介護が必要な度合いに応じて受けられるサービスが異なります。介護が必要な度合いを確認するためには、生活機能の状態を基本チェックリストにて認定調査の結果をもとに判定を受ける方法があります。また、第2号被保険者の方でも、関節リウマチや脳血管疾患などの特定疾病に該当すれば介護サービスを利用できる場合があります。介護や支援が必要と感じたら、まずは高齢者支援課や町地域包括支援センターにご相談ください。

高齢者支援課または地域包括支援センターに相談する（原則65歳以上の方）



目で見る国保の医療費

29年度の1人あたりの

医療費は49万9千円

平成29年度の国民健康保険の総医療費は約27億4千万円で、前年度よりも

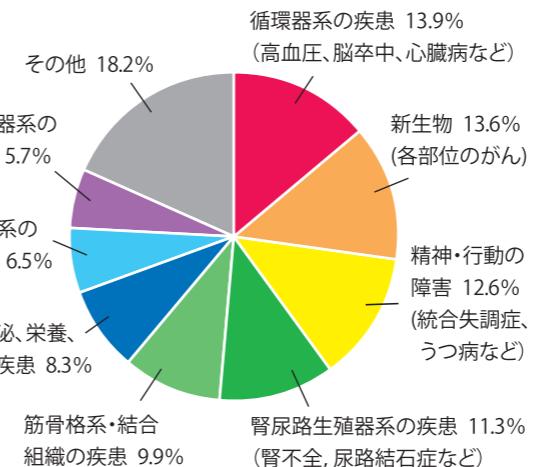
1・1%減少しています。しかし、1人あたりでは前年度比3.6%増の約

49万9千円で、県内市町村平均の約43

万円を大きく上回っています。これは、

生活習慣病の増加、医療技術の高度化、高齢人口の増加、同じ病気での重複受診などが要因であると考えられます。

疾病分類別の医療費統計
(29年3月～30年2月診療分)



北薩横断道路・国道328号線県に対し要望書を提出

11月13日、鹿児島県庁で北薩空港幹線道路整備促進期成会による要望活動が行われました。岩切剛志副知事に対し北薩横断道路の整備促進について、主に鹿児島空港から北薩空港道路間と広瀬道路から泊野道路間の早期事業化を要望しました。

また、鹿児島県市町村自治会館で国道328号整備促進期成会の要望活動も実施。下船木地区から宮之城屋地町頭地区までの4車線化や、平川大薄地区のS字カーブ区間の改良などを求めました。県からは「北薩横断道路の未事業化区間の整備に関して、これまで航空写真撮影による地図作成や概略図による検討を進めている。事業着手については現在整備中の区間の進捗状況などを見極めながら検討したい」と回答がありました。



岩切副知事(中央)へ田上真由美出水市議会副議長とともに要望

北薩横断道路の早期整備に向け地方大会で団結して要望

10月26日、宮之城総合体育館で地域高規格道路「北薩横断道路」整備促進地方大会が開催されました。北薩横断道路の早期全線開通を目指して、地域一体となった要望活動を展開するために行われ、沿線自治体4市2町から約1,500人が参加。国会議員などに各地域の代表者が力強いアピールをしました。

本町からは農林業代表として時吉畜産振興会の下田保幸会長が「物流の基本は交通体系。地域全体の物流の生命線として全線開通を待ち望んでいます」と主張。また、鶴田中学校3年の三角花穂さんは「人と人がつながるために道路の果たす役割は大きいです。一日でも早い全線開通を願っています」と未来に向けたメッセージを発表しました。



参加者全員のガンバローア三唱で早期全線開通を祈念しました

平成31年度から町県民税の配偶者控除・配偶者特別控除が見直されます

【配偶者控除】

平成30年度までは、同一生計の配偶者の合計所得金額が38万円以下の場合、本人の所得に関わらず適用を受けられましたが、31年度からは本人の合計所得金額に応じて、表のとおり控除額が見直されました。

【配偶者特別控除】

平成31年度から適用を受けられる配偶者の合計所得金額の上限が123万円以下に引き上げられました。また、本人の合計所得金額に応じて、表のとおり控除額が見直されました。ただし、本人の合計所得金額が1千万円を超える場合はどちらの控除も適用されません。

【お問い合わせ先】

税務課 町民税係（内線2112）

| 配偶者の合計所得金額 | 本人の合計所得金額 | | |
|------------|-------------|-----------------|-------------------|
| | 900万以下 | 900万超 950万以下 | 950万超 1,000万以下 |
| 配偶者控除 | 38万以下 | 33万 | 22万 |
| | 老人控除対象 | 38万 | 26万 |
| | 38万超90万以下 | 33万 | 22万 |
| | 90万超95万以下 | 31万 | 21万 |
| | 95万超100万以下 | 26万 | 18万 |
| | 100万超105万以下 | 21万 | 14万 |
| | 105万超110万以下 | 16万 | 11万 |
| | 110万超115万以下 | 11万 | 8万 |
| | 115万超120万以下 | 6万 | 4万 |
| | 120万超123万以下 | 3万 | 2万 |
| | 123万超 | — | — |

①不必要な重複受診はやめましょう
検査や処置をやり直すため医療費のムダ使いになります。

②診療時間内の受診を心がけましょう
救急の場合は別として、時間外受診は加算料金もつき、医師の負担にもなります。

③かかりつけ医をもちましょう
病歴や体质などを把握してくれているため治療効果も上がります。

④定期的に健康診断を受けましょう
病気の早期発見・早期治療を心がけましょう。

⑤毎日の健康管理に努めましょう
食事・睡眠・運動など規則正しい日常生活を送りましょう。

⑥ジエネリック医薬品を活用しましょう
医師・薬剤師に相談して変更可能であれば安価で経済的なジエネリック医薬品の処方をお願いしましょう。

交通事故にあったときは

交通事故などでケガをされた場合でも保険診療を受けることができますので、保健福祉課に届け出てください。

■お問い合わせ先

保健福祉課 保険係（内線2133）

【日 時】1月19日（土）
9：40開会
【会 場】長島町文化ホール周辺
【コース】6km・12km
【参加料】小中学生 1,200円
高校生以上 1,500円
【申込み】12月14日（金）まで
※先着1,200人
【お問い合わせ先】
長島すいせんウォーク実行委員会
☎0996-88-6500



【日 時】1月19日（土）
9：40開会
【会 場】長島町文化ホール周辺
【コース】6km・12km
【参加料】小中学生 1,200円
高校生以上 1,500円
【申込み】12月14日（金）まで
※先着1,200人
【お問い合わせ先】
長島すいせんウォーク実行委員会
☎0996-88-6500



県北部一郡一町の自治体であるさつま町、長島町、湧水町は、平成26年度に「さつ・長・湧水連絡会議」を発足しました。人口減少や少子高齢化など幅広い分野にわたる共通課題についての意見交換や、町議会議員同士、若手職員同士の合同研修などを行い、解決に向けた検討の場として協議を行っています。
今回は情報連携の一環として、長島町と湧水町のイベントをご紹介します。

イベントとしては今年で最後。幻想的な雰囲気の中を歩く星の散歩道をお楽しみください。
【期 間】12月1日（土）～1月7日（月）
【時 間】17：30～22：00
【場 所】湧水町轟地区運動広場
【お問い合わせ先】
湧水町役場 商工観光課
☎0995-74-3111





町 長と語り女性の意見を町政へ

10月25日、町女性団体連絡協議会による町長と語る会が開催され、54人が参加しました。女性の意見を町政に届けようと実施され、今回は環境・教育・福祉を中心に協議。生ごみの分別収集、学校再編に向けた施設整備などへの質問と、町マイクロバスの利用と宮之城総合体育館の空調整備についての要望が出されました。木下敬子会長は「女性が日頃感じていることを直接訴え、町政へ反映していただく貴重な機会。今後も継続していきたいです」と話されました。



鹿 児島固体を絵画でPR

10月28日、鹿児島市で開催された2020燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会カウントダウンイベントで、鶴田中学校3年の門前ちひろさんが表彰されました。門前さんは絵画コンクール中学生の部で最優秀賞を受賞。そのほか、町内では山崎小学校2年の下麦志英里さん、クオラキッズの中川葉菜さんも各部の佳作に選ばれました。入賞作品は、来年3月まで県内7か所で開催される巡回展で展示されるほか、大会ホームページでも見ることができます。

新 規参入者を助成金で支援

10月23日、町長応接室で商工業新規参入者支援補助金交付決定通知の交付式が行われました。この補助金は、町内で新たに商工業を営む方に対して町から補助金を支給し支援するもの。町長から対象者8人に対して交付決定通知書の授与が行われ、商工業繁栄に期待を込めた激励の言葉が贈られました。新規参入者の皆さんには「安定した経営を行えるよう頑張りたい」「経営を通して地域貢献を行いたい」など、それぞれの抱負を話されました。



後列左から赤岩広宣さん(飲食)、田上寛さん(飲食)、谷口優花さん(美容)、児玉清乃さん(飲食)、前列左から米盛岳志さん(飲食)、仁科浩子さん(飲食)、南田裕子さん(雑貨)、内由美子さん(美容)

本 気で挑むまくら投げ大会

10月28日、2018まくら投げ大会@さつま町が鶴田体育館で開催され、町内外から10チームが参戦しました。大将と攻撃役、防御役でチームが構成され、ドッジボールのようにまくらを投げ合う競技で、相手の大将に当てるべく、白熱した戦いが展開されました。優勝は川内川河川事務所と鶴田ダム管理所の職員で編成された「Sendai River チームB」で、来年2月23日と24日に静岡県で開催される全国大会の出場権を獲得しました。



一進一退の攻防が繰り広げられました



市 場祭りで地元野菜などをPR

10月21日、町公設地方卸売市場で市場まつりが開催されました。地産地消の推進と安心・安全な地元野菜などのPRを目的に実施され、11回目を数える今回は約650人が来場。上宮保育園のわんぱく太鼓や鶴田幼稚園の踊り、出店者による青果物・海産物の販売やニジマスのつかみ取りなどが行われました。青果物の模擬せりとバナナのたたき売りでは、威勢の良いせり人の掛け声が響き、新鮮な野菜や果物を買い求める来場者とのやり取りで大いに盛り上がりました。



薩 摩中央高校が町章贈呈

10月22日、町長応接室で薩摩中央高校から演台用の町章が寄贈されました。県内産のスギを使用し、生徒がデザインとヤスリ掛けなどを担当。台座となる板に5mm程度埋め込むことで強度を増したり、立体的にすることで目立つようにしたりなど工夫がなされています。実施委員長で3年生の坂下陸さんは「作製した町章を見てもうことで、学校の技術力の高さを感じて欲しいです」と話されました。町章は宮之城文化センターの演台のエンブレムとして使用されます。

下 手鷹踊りを九州大会で披露

10月8日、佐賀県の佐賀市文化会館で第60回九州地区民俗芸能大会が開催されました。九州・沖縄各地を代表する伝統芸能9団体が集結する中、鹿児島県を代表し、求名地区的下手鷹踊り保存会が出演。下手鷹踊りは、本町唯一の県指定無形民俗文化財で、藩政時代の鷹狩りの様子を表現した踊りです。第21回大会以来となる39年ぶりの出演で、世代を超えて受け継がれた格調高い踊りに会場からたくさんの拍手が送されました。



かつての鷹狩りの様子を踊りで表現します

お 秋の夜を音楽で彩る 月見コンサート開催

10月13日、北薩広域公園のびのびゾーンで2年ぶりとなる第30回お月見コンサートが開催され、約500人が来場しました。宮之城吹奏楽団や盈進小学校、鶴田中学校、宮之城中学校、薩摩中央高校の吹奏楽部による演奏やB.Mみやのじょうによる合唱で数々の名曲を披露。総勢約100人による「YMCA」と「西郷どんテーマ曲」の合同演奏も行われ、観客を魅了しました。イベント後半には抽選会も行われ最後まで大盛況でした。



秋の澄んだ空気に美しい音色が響き渡ります

文 伝統的工芸品の鶴田和紙を継承 文化財功労者賞に野元さん

11月1日、平成30年度鹿児島県文化財功労者の表彰式が鹿児島県庁で行われ、鶴田和紙職人の野元八千代さん（神子）が表彰されました。鶴田和紙は県の伝統的工芸品に指定されており、現在製造しているのは野元さんの営む鶴田手漉和紙工房のみ。永年にわたる製造技術の伝承や普及活動、地域文化の振興に貢献してきたことが評価されました。野元さんは「地域の方に助けられ、子どもたちの喜ぶ姿に元気をもらいながら続けてこられました」と受賞を喜びました。



伝統を受け継ぐ野元八千代さん（中央）と息子の政志さん（右）

音 小・中学生で奏てるハーモニー 楽発表会で歌声響く

11月7日、第14回町小・中学校音楽発表会が宮之城文化センターで開催されました。町内全13校の児童生徒が集い、これまでの練習の成果を精一杯披露。吹奏楽、合唱、合奏、歌と共にセリフと踊りを行うオペレッタ、竹太鼓など、各校の工夫をこらした素晴らしい歌声や演奏に、保護者や地域住民など多くの観客が魅了されました。また、中学校再編に伴い今年度で閉校を控えた中学生の歌声は、会場を感動で包み込みました。



閉校を控えた発表会で心を込めた歌声を披露する鶴田中生徒



中 地域を担う後輩へ贈る言葉 津川小で「ようこそ先輩」

11月1日、中津川小学校で卒業生を招き講話を聞く「ようこそ先輩」が行われました。薩摩中央高校1年の市山晴菜さんは、将来の夢を発表。果樹生産農家を営む父の姿を見て芽生えた覚悟や経営への意欲を伝えました。町担い手育成支援室の寺脇伸治室長は、金吾様踊りやオリジナル焼酎販売など、特色ある地域おこし活動が定住者増加につながったことを紹介。6年の神馬場莉央さんは「先輩の話を聞いてすごいと思いました。中津川が有名になって地域の活性化につながってほしいです」と感想を述べました。



焼 酎でKANPAI 初開催

11月2日、「さつま町も焼酎でKANPAI」がプラッセだいわ宮之城店の駐車場で開催されました。町内3蔵の焼酎を広くPRするために行われたこの企画に、約350人が訪れ700杯以上の焼酎を提供。実行委員長で飲食業を営む柳野洋行さんは「さつま町の焼酎を愛してもらえるよう来年以降も続けて、イベントを大きくしていきたいです」と喜びを述べました。



地域おこし協力隊・川西です!
QRコードを読み取ると動画投稿サイトで
イベントの様子をご覧になれます。



金 踊りを核とした地域おこし活動 吾様踊り復興活動に高い評価

11月1日、第69回南日本文化賞の地域文化部門表彰を受賞した中津川地区の金吾様踊り活性化実行委員会が、報告のため町長室を訪問しました。同委員会は、大石神社秋季大祭で奉納する金吾様踊りのにぎわいを取り戻すために、平成15年から地区の有志で結成。祭りの再興や後継者の育成などに取り組み、半世紀を超えて地割舞と稚児舞を復活させました。近年では1,300人を超える観客があり、交流人口やUターンの増加、地域農業の振興など多方面での活性化につながったことが評価され、受賞につながりました。



日高町長（中央右）と報告に訪れた実行委員の皆さん



求 産・学が共同し教育力の向上へ 名小とIGR京セラが事業提携

10月31日、求名小学校で同校とインターナショナルゴルフリゾート京セラとの事業提携の締結式が行われました。教育力の向上を目指す同校と、地域に根差した経営を進める同ホテルとが協力し、ワークショップなど児童が芸術に触れる機会の提供を確認。福井久善校長は「学校ではできない経験を通して、児童の創造力と想像力、表現力の向上につなげたい」と話されました。活動に係る経費は全て同ホテルが負担。学校と企業が継続した教育活動の提携を行うのは県内でも初めての試みです。

読 書フェスティバルで大人も子どもも読書の秋を満喫

10月27日、鶴田中央公民館で読書フェスティバルが開催されました。午前中は、県国際交流員の徐希京さんが異文化講演会で韓国の芸能や文化を紹介。午後からは、オススメ本を紹介し合い一番読みたくなった本を決めるミニビブリオ合戦、読書ボランティアの事例発表、絵本作家の鈴木のりたけさんによる絵画表彰



①異文化講演会では韓国の生活や文化、日本との違いなどを分かりやすく説明 ②ミニビブリオ合戦で優勝した宮之城中の西青木璃緒さん
③ちくりん生活音楽隊は歌いながら絵本を読み聞かせ ④歌に合わせてあっという間に新幹線を書き上げる鈴木のりたけさん
⑤宮之城母幼稚園絵本サークルは音楽に合わせて手遊びを披露 ⑥1と0だけで作られた色紙。他の人からは何に見えるかな？

技 能五輪全国大会で技競う

11月2日から5日にかけて沖縄県で行われた第56回技能五輪全国大会に、宮之城高等技術専門校2年の中林夕疏さん（柊野）が出場しました。この大会は、全国の青年技術者が各部門で技能レベル日本一を競うもので、本町出身者の全国大会出場は約16年ぶり。家具部門に出場した中林さんは、図面をもとに、手工具や木工機械を使って木材を加工し、課題のキャビネットを作り上げました。惜しくも入賞は逃しましたが、中林さんは「技能五輪に出場したことで得た知識や技術と技能を活かし、修了まで訓練を頑張ります」と感想を述べました。



全工程を手掛けたキャビネットを前に参加証書を手にする中林さん

県 一人一人の力をチームの力に変えて 中学校駅伝でタスキつなぐ

11月8日、平成30年度鹿児島県中学校駅伝競走大会が指宿市で開催されました。9月に行われた川薩地区大会を勝ち抜いた宮之城中学校の男女、鶴田中学校の男子が代表として出場しました。本番でも日頃の練習での力を大いに發揮し、最後まで走り抜きました。結果は次のとおりです。

■男子（6区間 20km）39チーム出場

宮之城中学校 10位 鶴田中学校 31位

■女子（5区間 12km）39チーム出場

宮之城中学校 13位



両校とも懸命な走りで仲間へタスキをつなぎました

最後は出演団体が出そろい会場全体で「東京五輪音頭」を総踊り
～町文化の香り 第8回さつま町文化祭



町 2年に一度の3支部共演 文化祭が華やかに開催

第8回町文化祭が、11月3日と4日に宮之城文化センターで開催されました。展示部門では、写真や俳句、装道など14団体の力作が会場を飾りました。芸能部門では、舞踊、五ツ太鼓、コーラスなど40団体が発表を行い、最後は総踊りで終演となりました。また、文化協会の発展に尽力された方の表彰もありました。表彰者は次のとおりです。（敬称略）

【社会文化功労賞】萩原美智子、脇ミル子、華の会
【社会文化努力賞】柳野孝子、ゆうゆうハーモニカ、智賀流紫峰会

2年1組の合唱が秋風に乗って校庭に響きわたりました



町 永い歴史に感謝し次の世代につなぐ 進祭で創立160周年を祝う

11月10日、盈進祭が盈進小学校校庭で開催されました。これは同校の創立160周年を記念して開催されたもので、卒業生や在校生をはじめ約3,000人が来場。児童の合唱や吹奏楽部の演奏などのステージイベント、スポーツ少年団などが出店する模擬店など様々な催しが行われました。中でも校庭の中央にあるセンダンの木のライトアップには大きな歓声が上がり、シンボルツリーの幻想的な姿に多くの人がカメラを向けました。ライトアップは午後5時から10時の間、12月25日まで行われます。

町 宮之城北部Aが新記録で4連覇 内を153人の選手が力走

11月11日、第14回町駅伝競走大会が、町内17区間28.15kmのコースで行われ、各地域から9チーム153人の選手が出場し、健脚を競いました。終盤までは宮之城屋地船木がリードしていましたが、残り3区間で宮之城北部Aが逆転し、最後は1分近く引き離しゴール。宮之城北部Aは、4年連続5回目の優勝に輝きました。Bクラス優勝は鶴田A、躍進賞は宮之城北部Bでした。1本のタスキを懸命につなぐ選手の姿に、沿道から熱い声援が送られました。

■総合順位（構成）

- | | | |
|--------------------|---|-----------|
| ①宮之城北部A | 新 | 1時間35分06秒 |
| （虎居、柊野、平川、白男川、泊野） | | |
| ②宮之城屋地船木（宮之城屋地、船木） | | 1時間36分04秒 |
| ③鶴田A（鶴田、神子、柏原、紫尾） | | 1時間40分00秒 |
| ④宮之城ほたるA（時吉、湯田、佐志） | | 1時間41分07秒 |
| ⑤薩摩（求名、中津川、永野） | | 1時間44分16秒 |
| ⑥宮之城ほたるB | | 1時間46分14秒 |
| ⑦宮之城山崎（山崎、久富木、二渡） | | 1時間46分21秒 |
| ⑧宮之城北部B | | 1時間46分55秒 |
| ⑨鶴田B | | 1時間49分54秒 |
- ※Bチームの構成はAチームと同様。



各地域の代表選手たちが一斉にスタート

①力強い選手宣誓 ②沿道からの応援が選手を後押ししました
③前半リードした屋地船木 ④孫から祖父へタスキをつなぎます
⑤女性同士のタスキリレー ⑥4連覇を成し遂げた北部A



■区間賞（敬称略）

- | | | |
|--------------|---|--------------|
| ①淵之上佑樹（屋地船木） | 新 | ⑩坂元咲蘭（北部A） |
| ②沖田萌々（屋地船木） | | ⑪段勇樹（薩摩） |
| ③祝迫湧士（北部A） | | ⑫西田天迦（北部A） |
| ④曾木大士朗（屋地船木） | | ⑬西悠太朗（宮之城山崎） |
| ⑤高岩宗浩（屋地船木） | | ⑭祝迫凜乃（北部A） |
| ⑥河口哲次（ほたるA） | | ⑮東條和廣（北部A） |
| ⑦高塚秀一（屋地船木） | | ⑯福留康介（北部A） |
| ⑧松永燎哉（屋地船木） | | ⑰満富航太（北部A） |
| ⑨上大迫みなみ（鶴田A） | | |

広 域公園で秋の休日楽しむ

10月21日、県立北薩広域公園のびのびゾーンで秋祭りが開催されました。町や近隣市町村からの特産品販売や町商工会員によるさつマルシェ、ピクニックマーケットも実施。ステージでは芸能発表会が行われました。ほかにもバルーンアート体験やストラックアウト、さつまるちゃんなどの握手・撮影会なども行われ、大人から子どもまで秋の休日を楽しんでいました。



公園にたくさんのお店が並びました

ふ るさとCMで町をアピール

10月19日、第17回KKBふるさとCM大賞の審査会が鹿児島市のアミュ広場で行われました。本町からは「ドンなときも本気です」と題した作品を出品。五ツ太鼓を題材に、町夏まつりの映像も交えながら迫力ある音にこだわり、その魅力を表現しました。受賞は逃しましたが、参加賞としてKKBで10本放送されます。CMは町ホームページからもご覧になれます。



会場でも五ツ太鼓の演奏を披露しました

お知らせ

健康診査日程

【12・1月分】

■乳幼児健診・健康相談

(宮之城保健センター)

○1歳7ヶ月～8か月児

(H29.4生) 健診

12月12日(水) 午後0時

30分～午後0時45分受付

○7ヶ月～8か月児

(H30.4生) 育児相談

12月14日(金) 午前9時

30分～午前9時15分受付

○3歳児(H27.10生) 健診

12月19日(水) 午後0時

30分～午後0時45分受付

○2歳3ヶ月児

(H28.9生) 歯科健診

1月10日(木) 午後0時

30分～午後0時45分受付

○すくすく育児相談

1月11日(金) 午前9時

45分～午前10時受付

○Hugくみるーむ

(H30.10生) 健診

1月15日(火) 午前9時

45分～午前10時受付

○4か月児

(H30.8生) 健診

1月16日(水) 午後0時

30分～午後0時45分受付

家屋・償却資産の固定資産税に関するお知らせ



『家屋を新築された方へ』

本年中に家屋を取り壊した方

は、12月末までに「家屋滅失届出書」を税務課へ

ご提出ください。提出がな

い場合、来年度以降も課税

される場合があります。

なお、住宅を解体した場

合は、住宅用地特例の適用

がはずれ、土地の税額が上

がる場合があります。ただ

し、一定の条件を満たす空家の解

体に対しても減免さ

れる場合があります。



■お問い合わせ先

1月31日(木)

申告方法

申告期限

申告



あかさき ゆうき
赤崎 友紀 さん

求名小学校6年



多くの人を幸せにできる医師に

命を守る医師を取り上げた番組で、親を助けてもらつた家族が涙を流し喜ぶ姿を見ました。医師は苦しむ人だけでなく、周囲も笑顔にする職業です。医師には、知力・体力・気力が必要です。学校でしっかり学び、ソフトボールで体を鍛え、読書で心を豊かにていきます。

将来、患者さんやその家族の気持ちに寄り添い、多くの人を幸せにできる医師になりたいです。



竹紙を使用しています
(竹パルプ10%配合)

休日在宅医

12月

- 9日 薩摩郡医師会病院 ☎ 53-0326
- 16日 鬼丸整形外科 ☎ 56-8811
- 23日 海江田医院 ☎ 53-0006
- 24日 溝口整形外科 ☎ 52-4668
- 30日 立志クリニック ☎ 55-9119
- 31日 林田内科 ☎ 53-1177

1月

- 1日 薩摩郡医師会病院 ☎ 53-0326
- 2日 相良医院 ☎ 53-0160
- 3日 宮之城病院 ☎ 53-0180
- 6日 てらだ内科クリニック ☎ 21-3232
- 13日 薩摩郡医師会病院 ☎ 53-0326
- 14日 小緑内科 ☎ 52-1676

休日当番薬局

12月

- 9日 青空薬局 ☎ 52-0101
- 16日 みやんじょ薬局 ☎ 52-4650
- 23日 タバタ薬局 ☎ 21-3344
- 24日 ヘルシー薬局 ☎ 21-3739
- 30日 フタヤ薬局 ☎ 59-2033
- 31日 ウチ薬局 ☎ 53-0063

1月

- 1日 青空薬局 ☎ 52-0101
- 2日 うさぎ薬局 ☎ 52-4116
- 3日 ふなき薬局 ☎ 29-3281
- 6日 さし薬局 ☎ 21-3610
- 13日 青空薬局 ☎ 52-0101
- 14日 かぐや姫薬局 ☎ 29-3301

わたしたちの町

推計人口による

| | | |
|----|---------|----------|
| 人口 | 21,020人 | (-14人) |
| 男 | 9,803人 | (-18人) |
| 女 | 11,217人 | (+ 4人) |

世帯数 9,427世帯

| | | | |
|----------------|-----|----|-----|
| 転入 | 60人 | 転出 | 53人 |
| 出生 | 9人 | 死亡 | 30人 |
| (平成30年11月1日現在) | | | |
| ()は前月対比 | | | |